

保存版

災害時

大規模な災害が起こったら、起こりそうなら

草内小学校

避難行動・避難所運営マニュアル

草内小学校避難所運営協議会



風水害



田辺中学校
三山木小学校

地震



草内小学校

基本的な考え方

- 1 災害時には、一人ひとりの自助を基本とします。
- 2 住民主体の避難、避難所開設・運営を目指します。
- 3 避難所は災害時の地域コミュニティの支援拠点と考え、準備、運営します。
- 4 要配慮者及び男女共同参画の視点にも十分配慮し、すべての人にやさしい避難所づくりを目指します。

災害時には、要配慮者を優先しましょう。

要配慮者とは



- 高齢者** 迅速に避難することが困難なことが予測されます
- 障がいのある人** 視覚、聴覚、肢体、精神、知的、内部等の障がいのある人
- 在宅療養者、透析が必要な人、糖尿・高血圧などの疾患のある人**
- 乳幼児・妊婦** 乳幼児を連れて逃げるのが困難です
- 外国人** 言葉が通じないことが想定されます

配慮し合えること

- ① 声かけ
- ② 情報伝達
- ③ 避難支援
- ④ 被災生活支援

要配慮者に配慮した運営

- 食事や物資の配給、情報提供方法やトイレの利用など、高齢者や障がいのある人、乳幼児、妊婦など要配慮者への配慮が大切
- プライバシー確保への配慮が必要であると同時に、孤立化を防ぐための見守りの工夫が大切
- 要配慮者自身が「要配慮者」であることをわかるよう示すことも必要

男女共同参画の視点に配慮した運営

- 男女それぞれのニーズの違いに配慮した安全・安心・快適空間づくり
⇒ 女性をはじめ、性的マイノリティ（LGBT）等、要配慮者に配慮した避難所づくりを目指すことで、被災者全員が少しでも快適に避難所生活を営むことができるよう心がけましょう。

LGBT：女性同性愛者Lesbian、男性同性愛者Gay、両性愛者Bisexual、そしてトランスジェンダーTransgenderの頭文字を用い、これらの人々をまとめた呼称

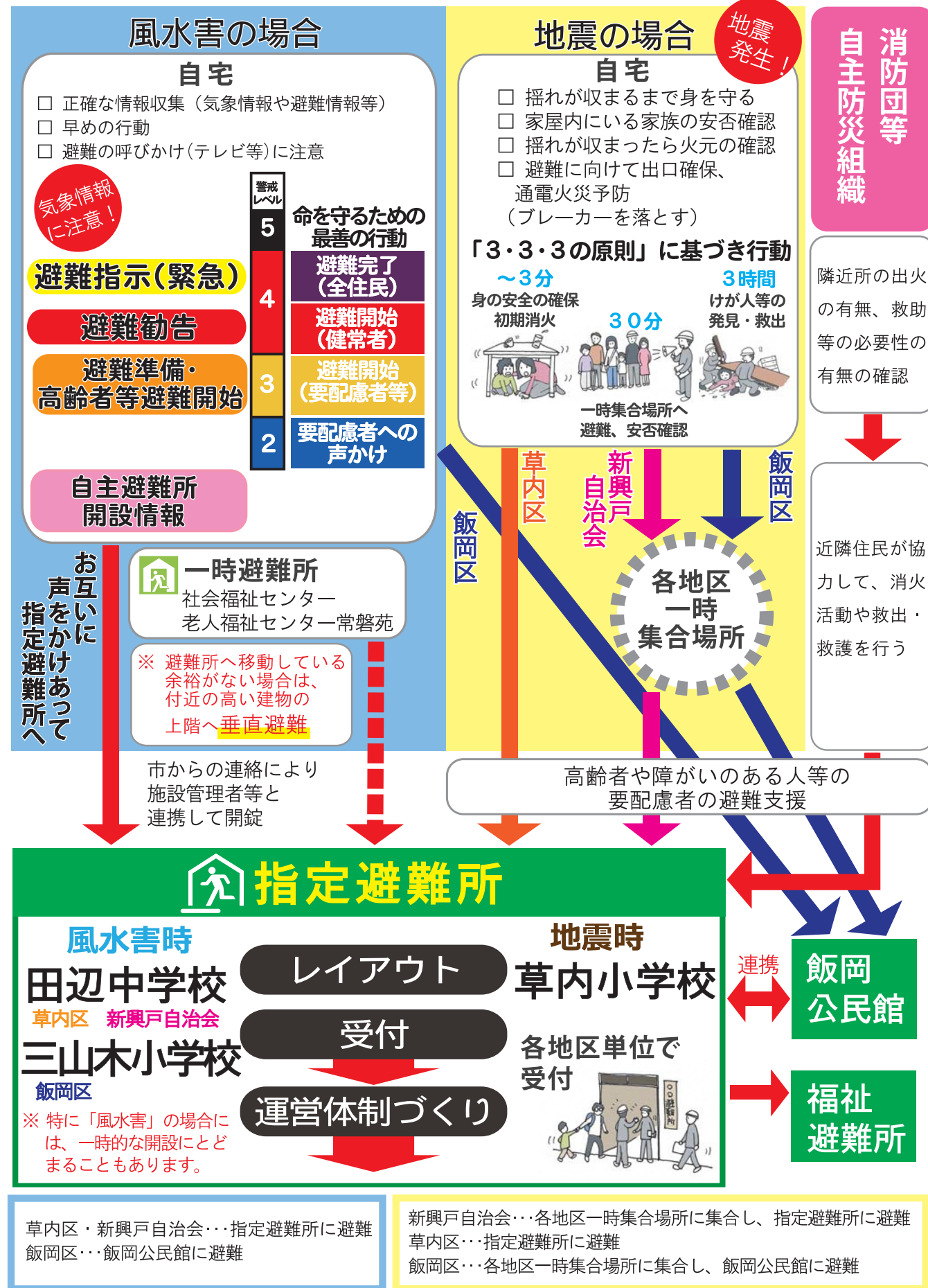
避難

災害が発生した時の避難行動の手順です。
災害時に速やかに行動がとれるように、「風水害」と「地震」の場合の避難行動の手順を、日頃から確認し合っておきましょう。

自助

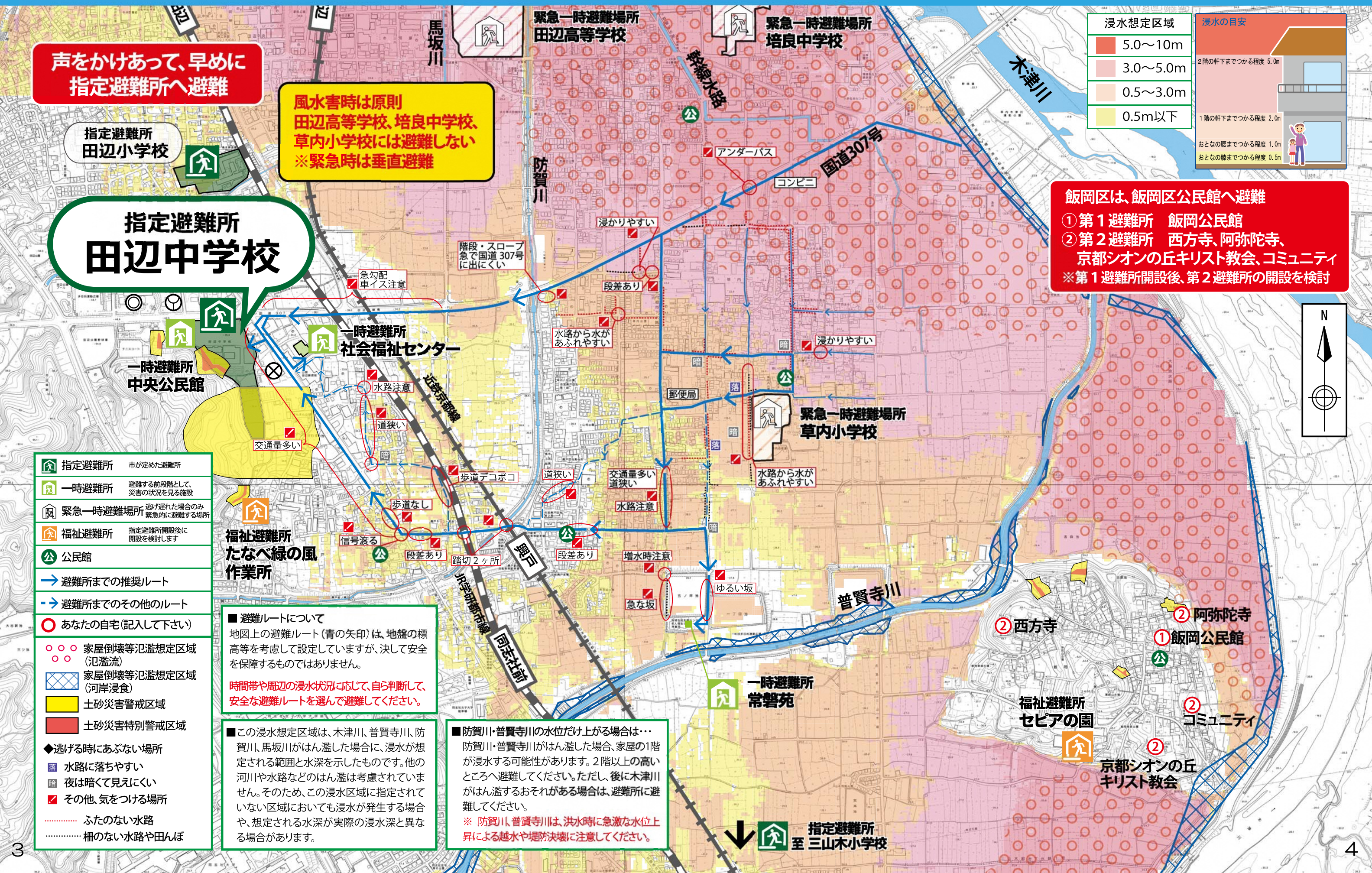
避難・安否確認

避難所開設



※ 自主避難所開設情報発令時に危険だと思う場合は、一時避難所へ自主的に避難
※ 一時避難所とは、一時的に避難して災害の状況を見る施設です ※ 原則、車は使用せず避難

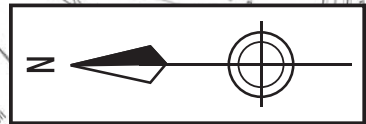
風水害時の指定避難所「田辺中学校・三山木小学校」



地震時の指定避難所「草内小学校」

	指定避難所	市が定めた避難所
	一時避難所	避難する前段階として、災害の状況を見る施設
	福祉避難所	指定避難所開設後に開設を検討します
	一時集合場所	地域が安否確認のために集まる場所
	公民館	
	あなたの自宅 (記入して下さい)	

飯岡区
一時集合場所へ
集まってから
第一避難所へ



飯岡区 避難所・一時集合場所	
避難所	① 第1避難所 公民館
	② 第2避難所 西方寺 阿弥陀寺 京都シオンの丘 キリスト教会 コミュニティ
一時集合場所	① 1・2組
	② 3・4・5組
	③ 6・7・8組、9・10組の一部、11組
	④ 9・10組の一部、12組
※ 第1避難所開設後に第2避難所の開設を検討します。	

草内区
声をかけあって
指定避難所へ避難

指定避難所
草内小学校

指定避難所
培良中学校

幹線水路

指定避難所
田辺高等学校

防賀川

新興戸自治会 一時集合場所	
①	草内八田公園
②	草内山科公園
③	近鉄興戸駅前(東側)
④	南落延公園

一時避難所
常磐苑

新興戸自治会

一時集合場所へ集まってから
指定避難所へ

近鉄京都線

JR学研都市線

三山木

三山木

避難者を受け入れる前に、施設のレイアウトづくりを行います。事前に決めておきましょう。

受付は、区・自治会単位の人数を確認し、避難者の名簿づくりを進めます。

- ☐ 使用可能施設・使用除外施設を確認。場合によっては、現場で施設管理者等と確認
- ☐ 主な避難場所となる施設において、安全確認後、レイアウトづくり
- ☐ 車で避難してくる避難者への対応や搬送車など車両の受入場所の確保
- ☐ グラウンドの活用を検討

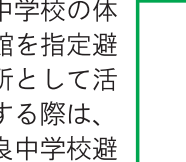
田辺中学校体育館



- *避難所運営協議会本部
- *物資スペース
- *救護コーナー
- *福祉避難コーナー
 - ／感染症対策室
 - ／体調不良者等一時休憩スペース
 - ／子ども、親子で安心して遊べる部屋
- *災害時対応電話・携帯電話のブース

- * 出入口等にスロープ配置
- * トイレの目隠しなどの配慮
- * 女性用の洗濯物干場の確保
- * 他地域の方の受入など、地域外の方のスペース確保
- * 盲導犬等の補助犬への配慮

風水害時に田辺中学校の体育館を指定避難所として活用する際は、培良中学校避難所運営協議会、草内小学校避難所運営協議会の2地区で共同で使います。



物資搬入口

炊き出しスペース

給水場所

通用口

仮設トイレの設置

エリア図

受付

3,000

福祉避難

救護

コーナー

男性便所

女性便所

手洗場

足洗場

男性更衣室

女性更衣室

器具庫

災害

避難所

対策

現地支部

男性更衣室

女性更衣室

授乳室

安否情報伝言板

物資スペース

避難所運営協議会本部ステージ

居住スペース

居住スペース

居住スペース

居住スペース

通路

1,100mm 程度

2,000

1,500

長イスの活用可能 (ベッドなど)

複数の掲示板などで みんなに情報を

車椅子が通れる 幅の通路をつくる

トイレが使いやすいように 要配慮者は通路側に

冬期は、 灯油ストーブを活用

プライバシー確保！ 男女更衣室は重要

5,410

13,605

13,605

5,040

4,810

5,000

4,620

5,570

37,660

(単位: mm)

The site map illustrates the layout of the Nishimura Community Center. Key features include:

- Buildings:** Ordinary Classroom/Special Classroom Building, Management Building, Special Classroom Building, Storage Building, and Gymnasium.
- Outdoor Spaces:** Designated areas for mobile phone use, pet use, and outdoor drying racks.
- Surrounding Facilities:** Nishimura Kindergarten, Nishimura Sports Center, and Nishimura Community Center.
- Notes:**
 - ※ 屋外に必要なスペース (Outdoor necessary space)
 - ※ 居住スペースには、ペットは入れない。 (No pets allowed in living spaces.)

必要に応じて、食料班が活用

学校と協議しながら、必要に応じて使用可能な部屋を活用する。

1階

2階

3階

運営

大切な9つの管理を
役割分担して避難所を運営します。

1. 避難者の受付・名簿づくり

受付・名簿づくりは、まず避難者の概算人数をとりまとめ、一定落ち着いた段階で、避難者の概要を把握します。



2. 運営協議会設置

運営にあたってのポイント

避難所生活のルール
をつくり周知

避難所において避難者に守ってもらいたいルールを話し合い、決定します。

情報は常に
“見える化”

情報が適切に伝わらないことがトラブルの原因になりますので、常に“見える化”を！

在宅被災者
にも配慮

避難所は、食料などの物資や各種情報の提供場所であり、在宅被災者も含めた支援拠点となります。

※ 発災直後は、状況に応じて、混乱する避難者をまとめるリーダー的存在により対応を進めることが必要な場面もありますが、一定落ち着いた段階からは、班体制を組み、組織的に避難所の運営を行うことが大切です。

行政責任のもと原則として
住民の自主運営

運営協議会

各班

協議・確認

総務班

要請・伝達

現地対策支部
(担当職員配置)

施設管理者等
(※ 必要に応じて)

災害対策本部

災害ボランティア
センター

各関係機関

運営にあたって必要な班体制とその役割

班名	担う管理	
総務班	総務	体制づくりなど総務・統括管理
管理班 ※ 防犯も担う	空間	レイアウトづくりなど空間管理
	人員	避難者の名簿や入退所などの管理
	ボランティア	応援ボランティアなどの管理
情報班	情報	様々な情報の収集・提供などの管理
衛生班	衛生	避難所の衛生管理
救護・要配慮者班	健康	避難者の健康管理
食料班	食料	避難者の食料管理
物資班	物資	備蓄や救援物資などの管理

- ※ 必要に応じて班構成を細分化します。
- ※ 班長は班内で交代制にして、5日間程度でローテーションするなど工夫します。
- ※ 避難所運営協議会へ女性も参加できるように配慮しましょう。
- ※ 看護師や介護士などの有資格者や民生児童委員、福祉関係者など、避難者の中から専門的な知識・技術をもった方の協力を求めましょう。
- ※ 避難者の中から、学生等の若い力の活用を積極的に図りましょう。

草内小学校 避難所運営協議会 運営体制 (地震の場合)

班名	担う管理	担当			役割
		草内区	新興戸自治会	飯岡区	
総務班	総務	総務部	本部・消防団	自主防災会 会長	市及び関係機関との連携・体制づくりなど総務・統括管理
管理班 ※ 防犯も担う	空間	総務部	各副ブロック長 各ブロック班長 (避難誘導班)	総務部	レイアウトづくりなど施設設置・管理
	人員		各ブロック長 親興会	避難 誘導班	避難者の名簿や入退所などの管理
	ボラン ティア		本部 各ブロック班長 (消火班)	消火班	応援ボランティアなどの管理
情報班	情報	会計部 総務部	本部・文化部	情報班	避難所や災害に関する情報の収集・提供などの管理
衛生班	衛生	生活部 老人会	体育部 顧問 (消防支援隊 防災士 民生委員)	救護班	食事提供時の消毒、ゴミ箱の設置などの衛生管理
救護・ 要配慮者班	健康	体育部 民生委員	各ブロック 担当班長 (救出・救護班)		避難者・要配慮者の健康状態などの健康管理
食料班	食料	開発部 子供会(PTA)	くらし 環境部 福祉 厚生部	物資班	避難者の食事提供などの食料管理
物資班	物資	農家組合役員			備蓄や救援物資などの確認、配給の管理

田辺中学校 避難所運営協議会運営体制 (風水害の場合)



風水害時に指定避難所として活用する田辺中学校では、草内小学校避難所運営協議会と培良中学校避難所運営協議会が協力して、田辺中学校避難所運営協議会を形成し、運営します。

三山木小学校 避難所運営協議会 運営体制 (風水害の場合)



風水害時に指定避難所として活用する三山木小学校では、草内小学校避難所運営協議会、三山木小学校避難所運営協議会、同志社国際高校避難所運営協議会が協力して、三山木小学校避難所運営協議会を形成し、運営します。

準備

被害想定と避難所の確認 / 天災は忘れた頃にやって来る

自分の地域の風水害の場合と地震の場合の被害想定を「京田辺市水害ハザードマップ」「京田辺市地震ハザードマップ」等で確認しておきましょう。

地域内でコミュニケーションを図りましょう。



日頃からの訓練で体制づくりを考えましょう。



地域の特徴をよく知っておきましょう。



みんなで要配慮者への配慮を心がけましょう。



非常持出袋の用意

避難時に持ち出せる非常持出袋を用意しましょう。

[非常持出袋の例] ※ 必要最小限で1日程度をしのぐため

- ☐食料 [例・缶入り乾パン110g 1個]
- ☐飲料水 [1〜3リットル ※ 持てる重さによる]
- ☐懐中電灯 ☐携帯ラジオ ☐軍手・手袋・マスク
- ☐タオル ☐ポリ袋 ☐救急袋
- ☐筆記用具 ☐新聞紙 ☐ラップフィルム
- ☐ウェットティッシュ ☐トイレットペーパー ☐簡易トイレ
- ☐サバイバルブランケット ☐呼び笛
- ☐個人的な必需品 (メガネ、コンタクトレンズ、入れ歯、持病薬、持病対応食品、貴重品など)

NTT災害用伝言ダイヤル(171)等を活用し、家族で連絡を取り合う方法を事前に決めておきましょう。



あると便利なものではなく、
「ないと困るもの」
を忘れずに!

備蓄品の用意

避難後に少し余裕が出てから安全を確認して自宅に戻り、避難所へ持ち出したり、また自宅で避難生活を送る上で必要な3日分程度、できれば10日分を備蓄しておきましょう。
(※ 避難所には最低限の物資しか備蓄されていません。)

- ☐食料 (アルファ化米、インスタントラーメン、缶詰類、レトルト食品、ビスケット、チョコレートなど)
- ☐飲料
- ☐生活用品 (タオル、バスタオル、毛布、卓上コンロ、ガスボンベ、簡易トイレ、体ふきシート、ドライシャンプー、新聞紙、ラップフィルム、使い捨てカイロなど)

緊急医療情報キット

救命救急を迅速に行うためのものです。
あわせて備えておきましょう。

【お問い合わせ】
京田辺市民生児童委員協議会事務局
健康福祉部 社会福祉課 TEL 0774-64-1371

「京田辺市防災情報メール」 配信サービスに登録を!

市から
防災情報を
メールで
お届けします!



PC・スマートフォン



フィーチャーフォン
(ガラケー)

